

2-1 安全中期計画(2017-2019)概要

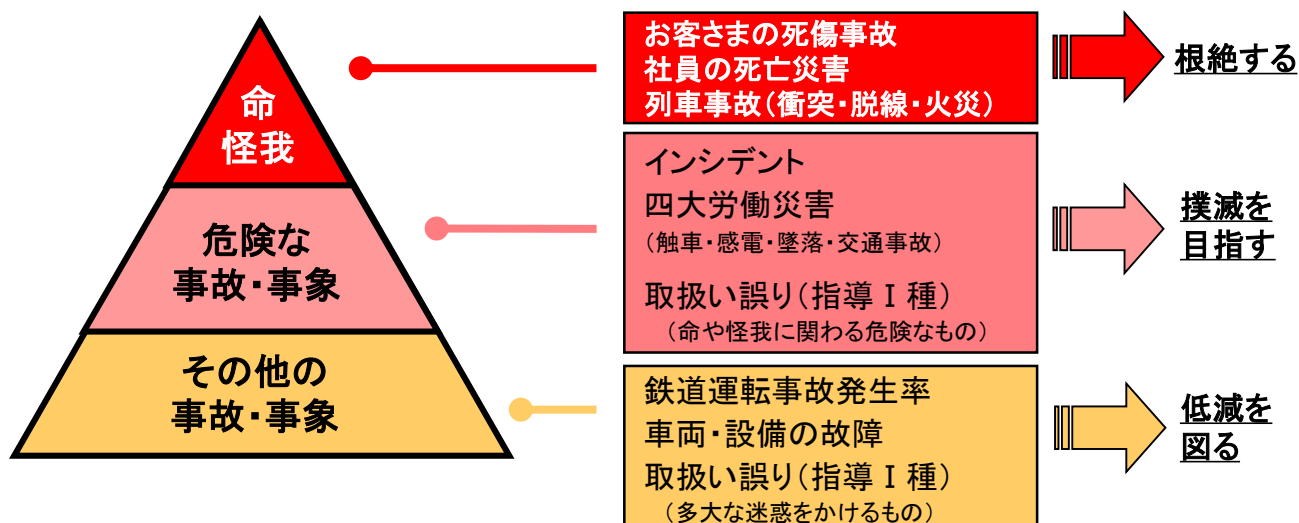
安全中期計画（2017-2019）は、JR九州グループの鉄道事業部門における3カ年の取り組み方針と重点施策を取りまとめたものです。この計画に沿って安全基本方針をはじめとした安全に関する各種取り組みや施策を展開してきました。

● 目標

【お客さまの命・怪我】及び【社員の命】に関わる事故を根絶する

そのために、これを脅かす【危険な事故・事象】の撲滅を目指す

さらに、【その他の事故・事象】も低減を図る



● 目標達成に向けてなすべきこと

■ 磨きをかけ成長していく取り組み

これまでの施策や取り組みの中で今後も継続していくべき事柄について、磨きをかけながら、しっかりと取り組むことが大事であり、次のことについて継続するとともに発展拡大させながら成長していきます。

- ◎安全マネジメント体制の充実
- ◎安全を支える人材の育成
- ◎安全確保のための施策の展開
- ◎防災・減災対策の強化等
- ◎車両・設備の故障防止

■ 新たに展開し進化を目指す取り組み

さまざまな事故・事象の未然防止を図るとともに、発生した事象に対しては再発を防止する新たな取り組みも展開していく必要があります。さらに新技術の導入などによって進化を目指し、未来につなげていくため、次のことに取り組んでいきます。

- ◎新技術の導入と機械化・自動化等による安全性向上
- ◎安全風土をつくる人材育成
- ◎安全確保のための施策の展開
- ◎防災・減災とセキュリティ向上
- ◎車両・設備の故障防止

2-2 2019年度 安全基本方針

「安全中期計画（2017－2019）」の目標達成に向け、「もう一度、それ大丈夫?!－安全に敏感になろう－」をスローガンとした安全創造運動2019を展開するとともに、安全に関する年度の重点実施項目を以下のように定めて実施しました。



● 重点実施項目

1. 安全を向上させる仕組み(安全マネジメント体制)の充実	● 安全監査・安全点検や安全総点検などのPDCAサイクルの円滑な実施 ● 安全大会、安全懇話会や各部門での会議、訓練等のJR九州グループ一体となった取り組み
2. 安全を支える人材の育成	● 「防・救・連」をテーマとした安全創造館研修の実施 ● 各種研修や実践的な教育訓練、現場巡回、各種異常時対応訓練 ● リスクアセスメントの定着と教材を活用した労働災害防止教育 ● 安全を最優先した迅速かつ正確な報告と適切な対応の徹底
3. 安全確保のための施策の展開	● 保安度を向上しヒューマンエラーをバックアップする設備の整備 ● 車両・設備に関わる危険な事象の防止 ● 鉄道運転事故を低減する取り組み ● 四大労災を撲滅するための取り組み
4 防災・減災対策の強化等	● 地震・津波対策 ● 落石・倒木(倒竹)・飛来物等防止対策の推進 ● 新幹線トンネル坑口、在来線都市圏への降雨に対する防災強度向上 ● 鹿侵入防止柵の設置拡大と効果的な注意運転実施等による獣害(鹿)対策 ● 鉄道テロの危機管理レベルに応じた警戒態勢 ● 災害に伴う計画運休等に関する国や県との情報共有と駅間停車列車のお客さまへの早期対応
5 車両・設備の故障防止	● 老朽車両の淘汰、リニューアル工事、内燃車の機関換装等 ● 計画的なレール交換、レール削正によるシェリング対策 ● 軌道回路装置のMTD化、ケーブル損傷防止対策、連動装置等の計画的な設備更新 ● 鉄道設備・機械の計画的な更新・老朽取替等による故障防止